

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成23年11月11日
【四半期会計期間】	第155期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	川西倉庫株式会社
【英訳名】	KAWANISHI WAREHOUSE CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤 武
【本店の所在の場所】	神戸市兵庫区七宮町一丁目4番16号
【電話番号】	神戸 078(671)7931(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 経理部長 福井 博
【最寄りの連絡場所】	神戸市兵庫区七宮町一丁目4番16号
【電話番号】	神戸 078(671)7931(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 経理部長 福井 博
【縦覧に供する場所】	川西倉庫株式会社 阪神支店 大阪事務所 (大阪府中央区本町三丁目2番8号) 川西倉庫株式会社 名古屋支店 (名古屋市中村区名駅南一丁目1番9号) 川西倉庫株式会社 京浜支店 (横浜市中区海岸通三丁目9番地) 株式会社大阪証券取引所 (大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第154期 第2四半期連結 累計期間	第155期 第2四半期連結 累計期間	第154期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年9月30日	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
営業収益(千円)	10,825,354	11,537,128	21,740,539
経常利益(千円)	59,472	315,862	164,988
四半期(当期)純利益(千円)	82,397	146,845	96,032
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	41,067	152,658	82,057
純資産額(千円)	15,310,585	15,427,694	15,321,156
総資産額(千円)	21,262,089	23,248,088	23,005,613
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	10.83	19.31	12.63
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	71.4	65.8	66.0
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	183,922	389,640	819,025
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	68,771	85,127	1,047,438
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	534,160	119,419	1,870,050
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	3,799,135	5,076,503	4,653,134

回次	第154期 第2四半期連結 会計期間	第155期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年7月1日 至平成22年9月30日	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	3.43	7.49

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
3. 営業収益には、消費税等は含んでおりません。
4. 第154期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクに重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から回復の途上にあるものの、米国景気の減速や欧州の財政危機の影響等により、先行きは不透明な状況にあり、依然として厳しい状況で推移しております。物流業界におきましても、輸出入貨物は回復傾向にありますが、物流の合理化、高品質化への要求がますます強まり、これら顧客ニーズに迅速に対応していくことが求められており、大変厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、北関東物流の構築、輸配送業務の強化、NVOCC業務の強化等に積極的に取り組んでまいりました。昨年下半年から輸入貨物の取扱い及び神戸港での港湾運送業務の貨物取扱いが回復したこと、神戸地区での国内運送取扱業務が前年同期に比べ増加したことにより業績は堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は前年同期比6.6%増加の11,537百万円、営業利益は前年同期比577.3%増加の313百万円、経常利益は前年同期比431.1%増加の315百万円、四半期純利益は前年同期比78.2%増加の146百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

国内物流事業

国内物流事業においては、前年同期に比べ貨物取扱高の増加及び輸入貨物が増加したことにより倉庫業務等の国内物流事業は堅調に推移いたしました。

この結果、営業収益は前年同期比7.0%増加の9,833百万円、セグメント利益は前年同期比70.7%増加の529百万円となりました。

国際物流事業

国際物流事業においては、輸出貨物の減少、円高による影響もありましたが、輸入貨物が増加したことにより、堅調に推移いたしました。

この結果、営業収益は前年同期比4.0%増加の1,629百万円、セグメント利益は前年同期比81.2%増加の90百万円となりました。

なお、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等のその他事業は、営業収益は前年同期比6.8%増加の82百万円、セグメント利益は前年同期比68.3%増加の19百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益が269百万円となり、減価償却費、短期借入金の増加、長期借入金の返済等により前連結会計年度末より423百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には5,076百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果獲得した資金は、389百万円（前年同期は183百万円の獲得）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益269百万円、減価償却費320百万円、退職給付引当金の増加額60百万円、売上債権の増加額66百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、85百万円（前年同期は68百万円の獲得）となりました。これは主として、定期預金の増加額21百万円、有形固定資産の取得による支出47百万円、長期貸付けによる支出30百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果獲得した資金は119百万円（前年同期は534百万円の獲得）と

なりました。これは主として、短期借入金の増加額299百万円、長期借入金の返済による支出134百万円、配当金の支払額45百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,258,322	8,258,322	大阪証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	8,258,322	8,258,322	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	8,258,322	-	2,108,000	-	1,862,230

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
大和製衡株式会社	兵庫県明石市茶園場町5 - 22	643	7.79
川西 多美	兵庫県芦屋市	584	7.07
川西 央也	神戸市東灘区	488	5.90
日本毛織株式会社	神戸市中央区明石町47	380	4.60
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区内幸町1 - 1 - 5	300	3.63
株式会社損害保険ジャパン	東京都新宿区西新宿1 - 26 - 1	300	3.63
川西 康夫	東京都品川区	299	3.62
財団法人川西報公会	兵庫県明石市茶園場町8 - 27	290	3.51
多島 晶子	名古屋市千種区	237	2.86
川西倉庫従業員持株会	神戸市兵庫区七宮町1 - 4 - 16	231	2.80
計	-	3,753	45.45

(注) 上記のほか、当社が保有している自己株式653千株(7.91%)があります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 653,700	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,603,900	76,039	-
単元未満株式	普通株式 722	-	-
発行済株式総数	8,258,322	-	-
総株主の議決権	-	76,039	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の欄には証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権の数10個)が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
川西倉庫株式会社	神戸市兵庫区七宮町1 - 4 - 16	653,700	-	653,700	7.91
計	-	653,700	-	653,700	7.91

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、神陽監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,754,259	4,201,531
受取手形及び営業未収入金	3,182,920	3,249,824
有価証券	999,783	1,000,030
繰延税金資産	152,816	108,632
その他	374,834	769,997
貸倒引当金	7,211	4,574
流動資産合計	8,457,401	9,325,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,252,622	6,075,947
機械装置及び運搬具(純額)	358,730	322,044
工具、器具及び備品(純額)	70,287	66,610
土地	2,971,108	2,971,108
リース資産(純額)	24,056	19,493
建設仮勘定	709,676	709,110
有形固定資産合計	10,386,482	10,164,314
無形固定資産		
港湾等施設利用権	1,484,324	1,484,324
その他	478,274	421,813
無形固定資産合計	1,962,598	1,906,137
投資その他の資産		
投資有価証券	981,935	976,279
長期貸付金	200,205	227,829
差入保証金	921,339	552,324
繰延税金資産	22,503	23,050
その他	80,383	79,969
貸倒引当金	7,239	7,259
投資その他の資産合計	2,199,129	1,852,193
固定資産合計	14,548,211	13,922,646
資産合計	23,005,613	23,248,088

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,914,668	1,931,808
短期借入金	710,249	1,078,358
未払法人税等	36,130	32,908
賞与引当金	211,399	248,538
役員賞与引当金	2,100	1,140
その他	511,601	352,534
流動負債合計	3,386,150	3,645,288
固定負債		
長期借入金	2,847,214	2,644,642
繰延税金負債	332,055	369,907
退職給付引当金	890,321	950,831
その他	228,715	209,725
固定負債合計	4,298,306	4,175,106
負債合計	7,684,456	7,820,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,108,000
資本剰余金	1,862,230	1,862,230
利益剰余金	11,720,519	11,821,736
自己株式	585,825	585,825
株主資本合計	15,104,925	15,206,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125,881	121,551
為替換算調整勘定	46,057	41,769
その他の包括利益累計額合計	79,824	79,782
少数株主持分	136,407	141,769
純資産合計	15,321,156	15,427,694
負債純資産合計	23,005,613	23,248,088

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業収益	10,825,354	11,537,128
営業原価	9,916,972	10,375,761
営業総利益	908,381	1,161,367
販売費及び一般管理費	862,091	847,838
営業利益	46,289	313,529
営業外収益		
受取利息	3,275	4,619
受取配当金	15,058	17,679
不動産賃貸料	9,932	8,248
その他	6,780	7,686
営業外収益合計	35,046	38,234
営業外費用		
支払利息	16,030	28,902
為替差損	5,833	6,997
営業外費用合計	21,863	35,900
経常利益	59,472	315,862
特別利益		
固定資産売却益	95,484	2,243
特別利益合計	95,484	2,243
特別損失		
固定資産除却損	2,096	64
営業所閉鎖損失	-	48,539
その他	24	1
特別損失合計	2,121	48,605
税金等調整前四半期純利益	152,835	269,500
法人税、住民税及び事業税	20,460	30,031
法人税等調整額	44,310	84,372
法人税等合計	64,771	114,403
少数株主損益調整前四半期純利益	88,063	155,096
少数株主利益	5,665	8,251
四半期純利益	82,397	146,845

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	88,063	155,096
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,043	4,330
為替換算調整勘定	8,953	1,892
その他の包括利益合計	46,996	2,437
四半期包括利益	41,067	152,658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	36,462	146,803
少数株主に係る四半期包括利益	4,604	5,855

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	152,835	269,500
減価償却費	457,995	320,973
貸倒引当金の増減額(は減少)	131	2,616
退職給付引当金の増減額(は減少)	64,912	60,509
賞与引当金の増減額(は減少)	10,648	37,138
役員賞与引当金の増減額(は減少)	300	960
受取利息及び受取配当金	18,334	22,299
支払利息	16,030	28,902
有形固定資産除却損	2,096	64
有形固定資産売却損益(は益)	95,459	2,241
売上債権の増減額(は増加)	256,071	66,904
仕入債務の増減額(は減少)	31,225	17,139
その他	156,967	210,896
小計	208,742	428,310
利息及び配当金の受取額	18,597	22,392
利息の支払額	15,880	27,647
法人税等の支払額	27,536	33,413
営業活動によるキャッシュ・フロー	183,922	389,640
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(は増加)	-	21,602
有形固定資産の取得による支出	39,625	47,722
無形固定資産の取得による支出	18,958	-
有形固定資産の売却による収入	131,400	11,725
投資有価証券の取得による支出	1,556	1,632
投資有価証券の売却による収入	1,000	-
長期貸付けによる支出	30,000	30,000
長期貸付金の回収による収入	8,775	2,376
差入保証金の差入による支出	4,025	802
差入保証金の回収による収入	19,878	1,181
その他	1,883	1,347
投資活動によるキャッシュ・フロー	68,771	85,127
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	399,737	299,536
長期借入れによる収入	300,000	-
長期借入金の返済による支出	119,000	134,000
配当金の支払額	45,633	45,627
少数株主への配当金の支払額	489	489
自己株式の取得による支出	454	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	534,160	119,419
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,198	564
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	782,655	423,368
現金及び現金同等物の期首残高	3,016,479	4,653,134
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,799,135	5,076,503

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
保証債務 連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。 (株)神戸港国際流通センター 578,820千円	保証債務 連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。 (株)神戸港国際流通センター 537,240千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費用及び金額は次のとおりであります。 報酬及び給料 417,108千円 賞与引当金繰入額 64,984千円 退職給付費用 42,364千円 減価償却費 16,872千円	販売費及び一般管理費のうち主要な費用及び金額は次のとおりであります。 報酬及び給料 411,519千円 賞与引当金繰入額 70,363千円 退職給付費用 37,765千円 減価償却費 14,005千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在) 現金及び預金勘定 3,899,945千円 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 100,810千円 現金及び現金同等物 3,799,135千円	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在) 現金及び預金勘定 4,201,531千円 有価証券勘定 1,000,030千円 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 125,059千円 現金及び現金同等物 5,076,503千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	45,633	6	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年11月11日 取締役会	普通株式	30,418	4	平成22年9月30日	平成22年12月13日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	45,627	6	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月10日 取締役会	普通株式	30,418	4	平成23年9月30日	平成23年12月12日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内物流	国際物流	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	9,192,896	1,567,363	10,760,260	65,093	10,825,354	-	10,825,354
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	12,038	12,038	12,038	-
計	9,192,896	1,567,363	10,760,260	77,132	10,837,393	12,038	10,825,354
セグメント利益	309,923	50,180	360,104	11,693	371,797	325,507	46,289

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 325,507千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 325,866千円及びその他の調整額358千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内物流	国際物流	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	9,833,038	1,629,747	11,462,785	74,343	11,537,128	-	11,537,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	8,010	8,010	8,010	-
計	9,833,038	1,629,747	11,462,785	82,354	11,545,139	8,010	11,537,128
セグメント利益	529,102	90,927	620,029	19,673	639,703	326,174	313,529

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 326,174千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 326,417千円及びその他の調整額242千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	10円83銭	19円31銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	82,397	146,845
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	82,397	146,845
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,605	7,604

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成23年11月10日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額 30,418千円

(ロ) 1株当たりの金額 4円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成23年12月12日

(注)平成23年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月11日

川西倉庫株式会社
取締役会 御中

神陽監査法人

代表社員 公認会計士 因幡 賢 印
業務執行社員

業務執行社員 公認会計士 米田 小百合 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている川西倉庫株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、川西倉庫株式会社及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。